



かねこ まさあき  
金子 公亮 氏  
にいがたセントラル泌尿器科 院長

【プロフィール】  
妙高市出身。1999年新潟大学医学部卒業後、新潟大学医学部泌尿器科入局。県内の関連医療機関勤務の後、2010年より新潟県済生会三条病院泌尿器科 医長として勤務。2021年3月、新潟市中央区に「にいがたセントラル泌尿器科」を開院。

【資格・所属学会など】  
日本泌尿器科学会認定専門医、日本専門医機構泌尿器科認定医。日本泌尿器科学会、日本泌尿器内視鏡学会に所属。

診療所でできる診療はここまで進歩した

オフィスウロロジスト

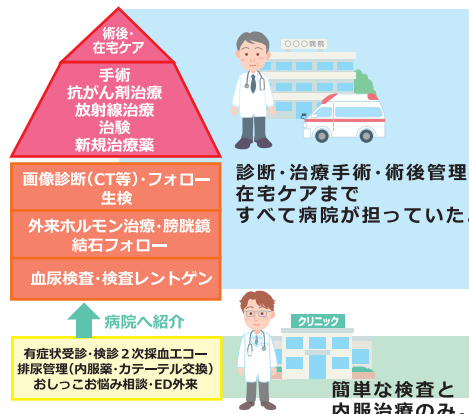
## 泌尿器科開業医の診療



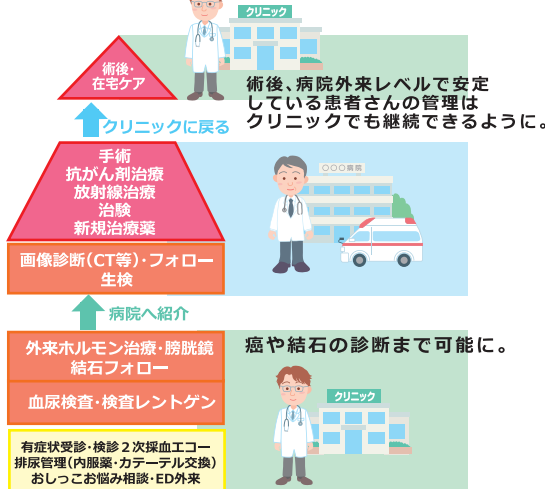
本格的な超高齢社会を迎え、泌尿器科疾患を抱える患者も増加傾向にある中、病院と診療所の連携・役割分担が重要になる。さらに医療技術の進歩により診療所で可能な診療も増えたようだ。新潟市中央区に開業する泌尿器科専門医、金子公亮氏にうかがう。

図1 泌尿器科領域の治療変遷

20年ほど前は・・・



現在では・・・



診療所でできる泌尿器科の診療が劇的に進歩！  
より患者さんをトータルで診ることが可能に

泌尿器科は、腎・副腎・尿路・男性生殖器の様々な疾患(癌・炎症・感染症・結石等)を診る領域。さらに投薬や緩和ケアなどの内科的治療、手術や内視鏡・腹腔鏡治療などの外科的治療も行うが、時代と共に病院と診療所で行う診療、求められる役割も変わりつつある。

「20年ほど前の泌尿器科診療と今を比べると、医療技術の進歩もあって開業医が出来る内容が大幅に広がりました。」そう話すのは、泌尿器科専門医で新潟市に開業する金子公亮氏。20年ほど前は、例えば「もしかしたら癌かもしれない」

「結石があるかもしれない」という段階で病院に紹介しており、開業医が確定診断をするのは難しく、初歩的な検査や投薬治療のみだったという。しかしその後、軟性膀胱鏡などの医療機器の発達と医師の技術進歩により、癌や結石の診断、しかるべき病院への振り分け、さらには手術後のフォローや在宅ケアも可能になっているという。「これからは、手術や放射線治療といった病院で行う診療以外は、一貫して開業医がフォローできる体制が構築されていく」と金子は話す。

## 勤務医時代の手術数と幅広い臨床経験を活かし オフィスウロロジストの役目を担う

金子氏によると、クリニックに来院する患者は、頻尿や残尿感といったおしこの悩みから、尿道炎や性病、さらに局部・男性器に関わる症状の方など幅広いという。「まずは問診でじっくり最後まで患者さんの話を聞くことを大事にしています。そして、患者さんの生活背景も考慮しながら、様々なことを想定し、症状に合わせて患者さんそれぞれにカスタムした診療を提案していきます。手術が必要な患者さんの場合でも、診断から手術を経て、その後どのような治療やケアが想定できるか、どのようなアプローチが最適か、一貫して想像することができません。幅広い症状から見極める診断力、そして診断から術後管理までトータルで分析できること、どちらもこれまでの経験が特に活かされる場面です。」

診断・治療・手術・ターミナルケアまで一貫して診療に携われるという理由で泌尿器科医をこころざした金子氏。さらに患者さんの負担を最小限に抑えられる低侵襲の内視鏡手術を学ぶため、



勤務医時代、手術支援ロボットda Vinciと共に。県内初導入された2012年に撮影。

これまで膨大な件数を執刀し研鑽を積んできた。そして今、オフィスウロロジスト(＝泌尿器科開業医)として新たな役目を全うしようとしている。

「様々な症状を訴える患者さんを自分の目で診て診断し、手術に関してはこれまでの知識と経験値で最適な病院を紹介する。そのために大病院との連携は密に行っています。そして術後はまたこちらに戻ってきて頂き、診療所で可能な最大限の医療を提供し、しっかりと管理させて頂く。それが今の自分の使命と感じています。」

## 地域の需要に合った診療でQOL維持を

金子氏のクリニックがある新潟市中央区には、実は泌尿器科件数が大変少ない事で知られている。そのため、術後安定している患者さんまでもが、日頃多忙を極めている病院の外来で診るケースが多いそうだ。さらに、他科診療所を受診している患者さんに泌尿器科疾患の疑いがあり紹介が必要なケースもあり、診療所同士の連携も大変重要になってくる。今後は、そういった他科診療所からの紹介や、前述の病院外来で行っている機能等、できる限りオフィスウロロジスト(＝泌尿器科開業医)にゆだねていくことが必須になる。金子氏は「その担い手として尽力し、泌尿器科診療の一助になれば」と話す。

日本泌尿器科学会会員医師のうち3割はオフィスウロロジストであり、求められるニーズは地域によって多種多様だという。泌尿器科は患者にとって非常にデリケートな部分に関わり、排尿管理に至っては人間の尊厳・人生の質に大きな影響を与える。患者さんが安心して診療を受けられるよう、そしてQOL(人生の質)維持のため、新潟におけるオフィスウロロジストの役割を全うし、活躍されることを期待したい。



膀胱内視鏡検査の様子。診療所で可能な検査機器を揃え、診断・治療に活かしている。



にいがた セントラル泌尿器科 025-282-7595  
新潟市中央区上3丁目10-65 マルシェコートA2階

受付時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00 ~ 12:00	●	●	●	●	●	●	●
15:00 ~ 17:00	●	●	●	●	●	●	●

※休診:  
月曜、日曜、祝日